

大津板紙株式会社



「持続可能な
環境保全の取組」

取組内容：
地域密着型環境保全

会社紹介 及び PR

代表者: 奥山 裕

所在地: 滋賀県大津市馬場1丁目15-15

設 立: 昭和30年4月

資本金: 3,000万円

従業員: 153名

事業内容: 段ボール製品原紙製造販売

経営理念

私達は古紙のリサイクルにより
安価で良質な 段ボール原紙を供給し
地域と社会に貢献します

【環境方針】

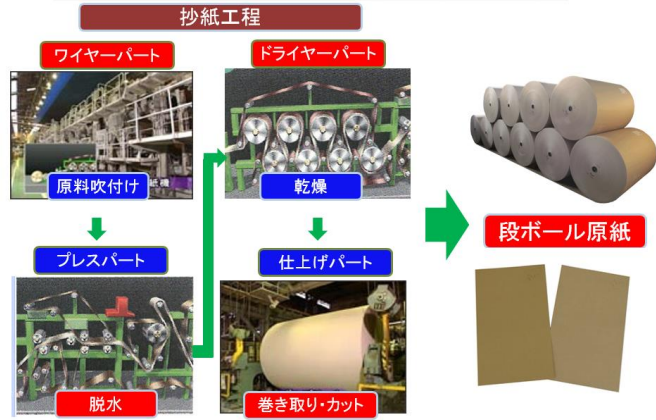
当社は、段ボール原紙の製造会社として、古紙のリサイクルにより社会が求める製品及びサービスと信頼を持続可能な形で提供しつつ、地球環境と調和した豊かな生活・文化・社会の創造を目指し、全員参加による環境マネジメントシステムを構築・文書化し、実行・維持・継続的改善を推進します

雑誌・機密書類リサイクル

紙のリサイクル工程 溶解～異物除去



紙のリサイクル工程 抄紙工程



雑紙リサイクルの推進

雑紙や溶解しにくい古紙を処理する設備の増強

- パルパーの改造
- ハイドラージシステムの増強
- 精選スクリーンの増強



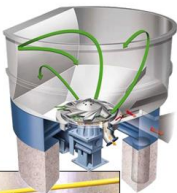
使用可能となった雑紙



機密書類リサイクル

機密書類を処理する専用パルパーの導入

段ボール1箱からでも手軽に持込めます



当社で循環している水のみでドロドロになるまで完全に溶解します



機密書類を安心・確実にリサイクル

直接自分で持ち込んで溶解されるところを見ることができる

専用ルームで溶解される工程をモニターで確認できる



焼却から溶解へと意識が変わる！！

官公庁との連携した取り組み

県内だけでなく京都府内の各市町村とも連携した取り組みを実施しています。

紙リサイクルに関する講習会の開催

大津市、守山市、高島市、京都市等



リサイクル工程の見学会実施

各自治体や各自治会、環境関係団体等



高い機密性による溶解処理

多くの官公庁、各種団体、病院、学校、企業が機密書類を溶解されています

- ☞ 直接当社へ持ち込み、溶解されるのをモニターで見ることが出来る
- ☞ 段ボール1箱からトラックでの持ち込みまでその場で即溶解可能
- ☞ シュレッダー等の手間をかけることなくどのような荷姿でも溶解可能（完全密封）
- ☞ 多彩な紙の種類を溶解できるため、選別等の手間も軽減

環境への配慮・CO₂削減だけでなく、高い機密性の確保と、手間の削減及び処理コストが削減できる

紙リサイクルによる社会貢献

焼却ごみにはまだまだ資源化できる紙類が含まれています。また、ごみ焼却場の維持費用は市税で賄われており、我々製紙メーカーはその様な紙類を積極的に使用し、税金がより有効に活用されるよう、リサイクル社会に貢献していきます。

* H27年度大津市の焼却ごみ 1t当たりの原価
 収集・運搬23,227円 + 焼却20,167円 + ※1埋立24,979円 = 計68,373円
※1大津市の埋立費用は焼却場の他、不燃物の処理費用も入りますので、焼却場のみの埋立費用は算出できません。

* H26年度京都市の焼却ごみ 1t当たりの原価
 収集・運搬24,912円 + 焼却23,782円 + 焼却灰埋立8,922円 = 計57,616円

紙リサイクルによる社会貢献

当社が処理したオフィスの機密書類



1トンの古紙は、立木(直径14cm 高さ8m)20本分に相当するとされており、古紙を利用することで森林保護に大きく寄与します

ゴミゼロ化

雑紙や機密書類を使用すると、紙を梱包する紐類やラミネート加工された合成紙、留め金具(ホッチキスやクリップ)が多く含まれています



ホッチキスやクリップ等の金属類は、自社で選別し、製鉄原料としてリサイクル



ビニールやプラスチック類は、グループ会社でパークボイラーの燃料としてリサイクル



機密書類持ち込み手段



大津板紙

古紙問屋等の資源会社とも連携しています。配送から溶解処理までを委託し当社指定で処理することや、配送だけ委託し、当社へ同行してご自身で溶解処理を確認することも可能です。また、溶解証明書発行も行っています。

機密書類持ち込みのメリット

- 当社に気軽に持ち込んでもらうことにより…
- ☆シュレッダー作業が不要になります
 - ☆焼却に比べコストの大幅削減ができます
 - ☆焼却から溶解へ切り替えることで社会と環境に貢献できます



環境配慮への設備

重油からガスへの燃料転換とコージェネレーションシステム

年間エネルギー消費量を原油換算で11%削減

硫黄酸化物の排出量ゼロ
窒素酸化物の排出量半減

二酸化炭素(CO₂)量を34%削減

重油運搬車両(ローリー10台/日)がなくなり、排ガス減少



環境配慮型 発電システム

当社製品倉庫である石山物流センターにて太陽光発電開始

年間31,000kWhを発電し、150tのCO₂を削減



高度排水処理システム

環境保護への取組として大いなる湖「琵琶湖」の水質保全に貢献するため高度な排水処理システムを構築

・1次処理

【加圧浮上分離処理】

工場で使用した水に混入している繊維を凝集剤と空気の気泡によって物理的に浮上分離

・2次処理

【超深層曝気式活性汚泥処理】
超深層曝気による活性汚泥処理装置「ディープシャフト」は好気性バクテリアによって有機物を分解

